

留学だより⑩



ナマステー！AFSでインドのパンジャブ州に留学している井之前です。ついに帰国まで一か月を切り、留学だよりを書いていないことにきづいてしまいました。記憶をさかのぼりながら執筆しております。今月は

1. 母インドに来る

一本立てでお送りします！

1月5日、ついに母が私とインドのホストファミリーに会いに来てくれました！ほかのエージェントでは原則家族が留学中に会いに来るのは禁止ですが、AFSでは許可を得れば会いに来ることができます。

母が会いに来ることが決まってから、ホストシスターは日本からのお土産が楽しみで仕方がないようで、YouTubeやインスタグラムで日本のお菓子の動画を見つけては共有してくるのが日課でした。

母の訪問当日にはホストシスターとウェルカムボードとホストファミリークイズまで作り、ホストマザーは豪華な食事を用意してくれていて、ホストファミリー全員が楽しみにしてくれているようでとても嬉しかったです。

大量の荷物を抱えた母が家に到着すると、ついに約半年ぶりに母に再会です。電話越しではなくて実際に会えてとても嬉しかったです。ホストファミリーと一緒に夕飯を食べた後はついにお土産のお披露目会がはじまりました。自分の持ち物を極限に減らして、お土産をたくさん持ってきてくれた母に感謝ですね。

ホストファザーはウイスキー工場の社長でもあるので日本酒セット、ホストマザーにはYOKUMOKUのお菓子詰め合わせ、犬たちにはおもちゃと洋服などみんなとても喜んでくれました！ホストシスターには大量のおみやげがあったので写真を見てください～



DAY2

二日目は私の住む町 Patiala を観光しました！私の住む地域はターバンを巻く人が多い地域、つまりシク教徒が多いエリアなので、そのシク教のお寺であるグルドワラに行きました。私の住む町で一番大きなグルドワラには毎日たくさんの人が礼拝に訪れます。

礼拝のために靴を脱ぎ、頭を布で覆います。グルドワラの中にはおおきな池があり沐浴をすることもできます。しかし沐浴をせずとも池の水を飲むだけでも清めることができるとされています。今回私と母は池の水抜いてみた！ではなく池の水飲んでみた！ということでした。鯉が優雅に泳ぐ池の水を一口。藻風味のいろはすだと思えば水です。清まりました。

グルドワラ訪問後は私の通う学校に訪問です。冬休み期間中なので、学校内に入ることはできず悲しいですが、学校前で母と二人で記念撮影を行いました。

その後はお楽しみのショッピング！

何でも手に入るインドのドンキ的なマーケットにやってきました。インドの靴であるジュッティを値切り交渉の末ゲットしご満悦な母といっしょにストリートフードを堪能しました。



DAY 3

3日目は私の住むパンジャブ州の象徴と言っても過言ではないシク教の聖地、ゴールデン・templ（Golden Temple）に訪問しました。ゴールデンtemplはアムリトサルという街にあり、家から 250 kmほど離れていて家から車で片道 5 時間。日帰りにはかなり厳しいですが、朝 5 時に出発しました。

午前 9 時ごろに到着しましたが、風が強い×寒さが相まってチャイを 3 杯購入。礼拝のために靴を脱ぐのですが、本気で脱ぎたくないとおもう程寒かったです。

そしていよいよ本殿と対面！黄金に光る本殿はゴールデンtemplという名前にふさわしいなと感じました。本殿の周りは池で囲まれており、水面に反射する様子もとても感動しました。私たちは本殿には入らず、池の周りを歩き、池の水を飲み、世界最大の無料食堂ランガルに行きました。本殿に入らないなんてもったいないと感じるかもしれませんが、

本殿に入るまで最低でも4時間立ちっぱなしで山手線の朝の通勤ラッシュ並みの込み具合だそうです。

無料食堂ランガルでは、毎日10万食を提供しています。宗教、カースト、国政、性別、地位に関係なく、すべての人びとが平等に分かち合うという思想で、皆が同じ部屋で床にあぐらをかき、床に置かれた皿に大きな窯を抱えた人たちがごはん、チャパティ、ダル（豆）、カレー、ヨーグルトを整然と配膳してくれ、静寂な場所で食事をします。このような場所で食事をするのは初めてだったので、とても貴重な体験でした。そして、ランガルで働く人たちは全員ボランティアで提供される食材も寄付によってまかなわれていると知り、シク教徒の信仰深さに感銘を受けました。

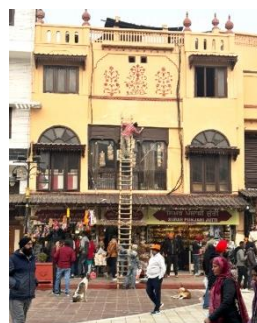


礼拝の後はお寺の周りにあるマーケットでお買い物を楽しみました。とにかく客引きの人が多くて、これもインドあるあるですがあまりの多さにびっくりしました。ゴールデン temple を訪れた後はワガボーダーというインドとパキスタンの国境に行くことに。

ゴールデン temple から60 kmほどで、まったくもって近いわけではないですが250 km離れた場所からきているので感覚が狂っているようです。ついに到着して車から降りると、おじさんがえっほえっほとやってきて、インドの旗のカラーペイントを手とほっぺたに塗ってきて、なんなんだこいつと思いつつもノリノリで塗ってもらったら1人200ルピーだとか言い出したのでこれが野生のぼったくりか！と思って渋々80ルピー払って逃げました。意味がわかりませんが、今では笑えるエピソードです。

そして着いたのはいいものの、門が開くのが2時間後と言われて、びっくりが止まりませんがお昼ご飯もたべつつのんびりと過ごしました。ついに門が開くと、大量の人が押し寄せてきました。ワガボーダーでは毎日同じ四時ごろから軍隊の人によるパフォーマンスを見ることができ、1時間前から入ることができます。中心地から近いわけでもないのにこんなに人が集まるのかと驚きました。

日帰りの予定だったので、ショーを見ることはできませんでしたが、パキスタンとの国境を自分の目で見る事ができて嬉しかったです。



*今はこのワガボーダーは5/6からインドとパキスタンの戦争が始まってしまったため閉鎖されています。

DAY4

ついに四日目！毎日の長距離毎日の長距離移動が続いてますが今日はさらに私の住む町から200キロ離れたデリーへと移動して行きます。デリーには私のホストシスターのいところに住んでいるので、そのお家に泊めて貰うことになりました。

ついてすぐに遺跡巡り！フマユーン・トゥンプとクトゥブ・ミナールという世界遺産にも登録されている遺跡を訪れました。

フマユーン・トゥンプは、ムガル帝国の皇帝フマユーンのお墓で、奥さんが建てたそうです。赤い石と白い大理石できていて、きれいな庭園の中に建っています。タージ・マハルのもとになった建物とも言われているのでタージ・マハル同様にとっても綺麗な左右対称な建物に感動します。タージ・マハルもすごいけど赤い建物はインドの晴れた空に映えて、個人的にはフマユーン・トゥンプのほうがお気に入りです。

そして、クトゥブ・ミナールは高さ73メートルもある細長い塔で、12世紀ごろにつくられました。イスラームの礼拝の時間を知らせるための「ミナレット」というもので、赤い石に彫られた文字の模様がすごく細かくてきれいです。インドでは一番高いミナレットなんだそうです。

プチスポット インド門 (India Gate)

時間が無くて中には入ることができませんでしたがインド門にも行きました。ここは、第一次世界大戦やアフガン戦争で亡くなったインドの兵士たちをたたえるために建てられた戦争記念碑です。

高さは約42メートルもあり、遠くから見ても迫力満点です。門の石には、戦争で亡くなっ

た兵士の名前がたくさん彫られているようで、戦争を忘れないためにも重要な建造物です。



遺跡巡りの後は、デリーハートというインド中の特産品が集まるマーケットに行きました。お土産だけでなくパフォーマンスやダンスを見ることができる超おすすめスポット。マーケットには色とりどりの布や刺しゅうのバッグ、木彫りの置物、ビーズのアクセサリなど、手作りの雑貨がたくさん並んでいました。全部、実際に職人さんたちが作っているようで、見ているだけでも楽しい。

食べ物のお店では試食をすることができます。ホストファミリーと母が買い物している間にホストシスターといとこと試食コーナーのお菓子を食べすぎて店員さんに怒られました。みなさんも試食は程々に。

そしてショッピングだけでなく、食べ物のブースも充実していて、パンジャブのカレーや南インドのドーサ、モモというネパール風の餃子など、いろんな地方の料理を味わうことができます。全部気になって胃袋が足りなかったです。

日によっては、音楽や踊りのパフォーマンスも行われていて、私が行った日も太鼓の演奏が響いていて、とてもにぎやかでした。

最後にフェイスペイントを体験しました。いここは呪術廻戦の大ファンなので宿儺(すくな)の顔のフェイスペイントをしてもらっていました。かわいいい！

この日は色々盛りだくさんで最後にはクタクタになっていましたがとても楽しい一日でした！



DAY5

ついに母ともお別れの日。まさかインドまで来てくれると思っていなかったので、この4

日間がとても楽しかったです！また、私のホストファミリーともすごく仲良くなって、留学が終わってもずっと家族のように関係が続くと良いなと思いました。



あとがき

今回はコンパクトにまとめようと思っていましたが、いつも以上にボリュームたっぷりでお届けしました。10号にまとまり切らずグダグダですが次号も読んでくれると嬉しいです。

16期 井之前